

放課後等デイサービス

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カナガク放課後デイ 横浜		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 14日		～ 2025年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動に様々な療育を取り入れていること	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して自信や自己効力感を高めることを目的に、様々な毎回の活動に取り入れています。 ・保育士、児童指導員が連携することで、専門性を活かした支援ができます。 ・子どもの個々の発達課題や年齢に応じたアプローチを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに充実を図るために、子ども一人一人の発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修を実施していきます。 ・子どもたちの発達の芽をとらえ、ミーティングで気づきを話し合いながら、より子どもたちの主体性を伸ばせるよう努めます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			

公表

【放課後等デイサービス】
保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 カナガク放課後デイ 横浜西口

公表日 2025年 3月 20日

利用児童数 35人 回収数 8人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0		訓練指導室は約50㎡あり、国の設備基準で以上を確保し、集団活動が行える空間となっております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		国の基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。今後も専門性を維持できるよう児童分野での経験と専門性を備えた人員を配置していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(机や本棚の配置など何をやるかわかる環境)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	0	0		お子さんがわかりやすい教材の配置や掲示物が過多・雑多にならないよう配慮しています。また、活動時には玩具を片づけるなど工夫しています。階段に手すりを設置していますが、建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいのが現状です。必要な場合は職員が階段の上り下りを補助し、より安全に配慮いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		療育が終了するごとに弱酸性次亜塩素酸水溶液を使用し、教材、机、椅子の消毒を行い清潔さと心地よさの維持を心掛けています。常時空気清浄機を稼働し、冬場は加湿器を設置しています。活動スペースは1か所ですが、多目的に使用できるようになってい
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		個々の発達段階や特性、ニーズを職員が共通に理解し安心して過ごせる環境を整えるよう努めています。活動内容には視覚的手がかりを多く取り入れて理解しやすいよう工夫しています。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	1		当事業所の支援内容と支援プログラムは児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の内容』に則し、作成・実施しております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		日常の遊びや活動の場面の観察、発達検査の報告などを通じて子どもの成長・発達、本人のニーズを把握し、保護者のニーズを含めた支援計画を作成しています。
	8	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	1		当事業所の個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」を網羅するよう作成しています。その中からお子さんの発達状況を踏まえた上で必要な項目を選択し支援内容に組み込んでいます。
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		活動前後のミーティングにて支援方法などを確認するようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	1		お子さんやグループの進度によって内容をレベルアップしたり、季節の活動を取り入れたり固定化しないためのプログラム立案に努めます。布を使った表現活動やルールのある鬼ごっこ、ソーシャルスキルを高める活動等取り入れます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1	4		地域の他の子どもと活動する機会が持てていないのが現状です。今後の検討課題とさせていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		運営規定の内容を踏まえた重要事項説明書、契約書を使用し説明しています。ご質問があれば随時対応しています。支援プログラムについてはホームページ上で公表し、保護者の方全員に配布資料としてお配りしています。
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		個別支援計画を提示しながら支援内容について説明しています。モニタリング時には、参観もいただき現状の把握と課題に向けた取り組みをご説明させていただいております。根拠となる状況に触れながら説明することでより具体性のある個別支援計画の作成と説明に努めています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	0	1		外部講師による保護者向け研修会を実施しました。ライフステージに応じた情報提供や講演会が行えるとより良いと思いますので、今後も検討していきます。

保護者への説明等	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		参観や面談の際に、実際の療育の様子を観ていただき、お子さんの課題や支援内容について共通理解を図るよう努めています。毎回の療育終了時のフィードバックではその日の様子をお伝えし、ご質問に答える時間を設け、発達状況についてお互いに理解を深めながら共通理解を図ることを心がけています。不十分というご意見もあるため、今後もさらに保護者の方と共通理解が図れるよう努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	1		6ヶ月に一度以上は定期的に面談を行っています。また、療育後のフィードバック時にもお話をする機会を設けています。より相談しやすい体制整備や周知に努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	1		お子さんを中心とした視点を持ち、お子さんの最善の利益を優先することを日頃より大切にしています。共感的な関わりの中でお子さんにも保護者の方にも安心して過ごしていただけるよう今後も努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	3		6ヶ月に1回程度、保護者会と参観を行い、交流の機会を設けております。きょうだい児支援、イベントの開催等、不十分な点もあるため、今後の検討課題とさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	3		相談や苦情窓口については契約時に重要事項説明書を提示しながら説明しています。また当事業所以外にも区市町村の相談・苦情窓口の情報について重要事項説明書に記載しています。定期的な周知に努めていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	1		お子さんの発達状況に応じて一人ひとりに合わせたコミュニケーション手段を検討しています。その日の活動内容はホワイトボードに記載し表示しています。保護者の方へは状況や緊急性に応じてお便り、お電話、面談などで対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	1		事故・災害・感染症などのマニュアルについて保護者会にて説明しております。研修や訓練は、安全計画の中ですべての研修や訓練を計画し、実施しています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	3		BCPIに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、お子さんへは防災頭巾の使用を促したり、保護者との引き取り訓練を行っています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	3		安全計画に基づき怪我等などについての注意喚起や事業所の取り組みについて『カナガク通信』やハグにて周知に努めています。安全計画に基づいて行われていることについて保護者の方への周知が不足しているため、よりわかりやすい周知方法を検討します。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1	0	0		
	29 事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

事業所名 カナガク放課後デイ横浜西口

公表日 2025年3月20日

		チェック項目			●工夫している点	❖課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	●当園の訓練指導室は約70mあります。国の設備基準以上の広さを用意しております。集団活動が行えるよう、指導員の目が届く死角のない一つの空間です。	❖引き続き、安心・安全な環境作りを心がけていきます ❖年齢や活動に対しては狭く感じることもあるため、活動内容を工夫していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	●国の人員配置基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。さらに、保育士、言語聴覚士、公認心理師、音楽療法士など児童分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置を努めております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	●児童がわかりやすい遊具の配置、掲示物を減らす、活動時には玩具を片づけるなど工夫しています。階段に手すりを設置していますが、建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいのが現状です。必要な場合は職員が階段の上り下りを補助し、安全への配慮を心がけています。	❖引き続き、わかりやすく、過ごしやすい環境となるよう、配慮の必要性に応じた対応を心がけていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	●毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけています。常時空気清浄機を稼働し、冬場は加湿器を設置しています。活動スペースは1か所ですが、多目的に使用できます。 ●感染症予防のため、次亜塩素酸水で除菌清掃しています。また、二酸化炭素濃度測定器を設置し、換気の徹底に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	●本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室(事務室)で対応しています。	❖引き続き、安心安全な環境づくりを心掛けていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	●PDCAサイクルを心がけ、週に1回職員ミーティングにおいて現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。	❖引き続き、PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	●ホームページで評価、公表を行っています。引き続き検討、改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	●職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。	❖引き続き、意見の出しやすい仕組みづくりと風土を築くことで職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めていきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	8	●現在は利用者と社内の評価のみとなっております。外部講師によるケース検討、実習生の受入れ、関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	❖第3者評価の実施については今後の検討課題としてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	●外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。 ●職員それぞれの専門性の研鑽を奨励しています。	❖引き続き職員の資質向上に努めます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	●2024年9月に支援プログラムを作成、ホームページにて公表しております。	❖保護者の皆さんが周知できるよう努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	12	0	●適切なアセスメントができるよう職員全員が外部講師によるアセスメント研修を受講しています。お子さんと保護者のニーズや課題を客観的に捉え分析した上で、個別支援計画を作成しています。	❖引き続き包括的な支援と具体的なプログラムの作成に努めます。

	チェック項目			●工夫している点	◆課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
適切な支援の提供	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	●お子さんに関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し情報共有を図っています。	◆職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会も増やしていきます。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	●ミーティングでの情報共有を行うと共に、職員が個別支援計画もいつでも確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	●外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしています。 ●適宜保護者面談を行いニーズを把握、再確認したり行動観察を行い個別支援計画を作成しています。	わからない=1名 ◆引き続きフォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを活用し適応行動の状況を確認していきます。
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	●放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定しています。	わからない=1名 ◆引き続きお子さんの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	●プログラムの目的や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるよう努めています。	◆引き続きプログラムの方向性、ねらいや関わり方を確認する場を設定し、多くの職員が参画していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	●子どもやグループの特性によって内容を変化させたり、季節の活動を取り入れたり固定化しないためのプログラム立案に努めています。	◆引き続きお子さん一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの立案に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	●一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	◆引き続き個々のニーズと集団におけるニーズを踏まえた支援計画の作成と支援に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	●活動開始前に打ち合わせを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認し合います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	●活動終了後も30分程度ミーティングを行い、利用者の様子や支援の振り返りを行い、共有します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	●日々の支援について個別記録を徹底しています。それらを次のステップアップや改善につなげていきます。	
23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	●概ね6カ月に1度、見直しを行っています。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	5	5	●現在、様々な活動して成功体験を積み自己肯定感を高める、他者と関わる、表現する喜びを体験する等の場面を設けながら支援しています。主体的に参画できる活動を多く取り入れています。	◆地域交流、学校との連携の部分が弱く、検討課題です。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	12	0	●活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	●開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選んで出席します。	わからない=1名	

	チェック項目	はい	いいえ	●工夫している点	◆課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	●必要に応じて関係機関との連携を図っています。	◆関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう努めます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	3	8	●保護者を通して情報を得ています。また、学校見学会などの機会を利用しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2	●同施設内の児童発達支援事業所を卒園した利用者は情報共有がなされています。その他の利用者は必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	8	●これまでご要望がありませんでしたが、情報提供等をする体制はあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0	●こども発達支援センターで発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有しています。またこども発達支援センターが地域に向けた研修を実施した際には参加しています。	わからない=2名 ◆センター機能の情報収集をしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	●ご本人の発達支援や余暇活動の充実をご希望される方が多いため、当施設から放課後児童クラブや児童館に直接出向いて交流する機会は設けておりません。	わからない=1名 ◆ご要望に応じて今後の検討課題とします。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	5	●現在、参加は実施しておりませんが、要請があれば参加の体制はあります。地域連携に関連するものとして、練馬区障害福祉サービス事業者連絡会や要保護児童対策地域協議会に参加しています。	わからない=1名
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	●日々の送迎やフィードバックの際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。	◆話しやすい相談支援体制を構築するよう努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	●今年度、保護者向けの研修会、幼児の保護者向けのペアレントプログラムを実施しました。	◆学童期向けの研修会の要望もありましたので今後の課題とします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	●契約時に説明させていただいております。また、不明な点は随時職員が説明するようにしています。利用者負担は変更がある度にお知らせしております。	◆利用者負担は単位や加算などがわかりにくいいため周知方法への工夫が必要です。
37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	●お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。		
38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	12	0	●支援計画内容を説明する面談を設け、同意を得ています。		
39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	●半年に1回程度の保護者会や相談したいことがあれば適宜面談日を設定しています。		
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	●保護者会を年2回開催し保護者同士の交流の機会を保障しています。	◆きょうだい児支援については支援方法など要望を伺いながら今後の課題としていきます。	

保護者への説明等	チェック項目	はい	いいえ	●工夫している点	◆課題や改善すべき点
41	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	●相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	◆引き続き迅速な対応に努め、相談支援体制の周知を図ります。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0		◆今年度も引き続きより良い活用方法を検討していきます。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	●個人情報に記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しています。また掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう配慮しています。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	●行動から読み取る、ボードに書く、ことばと身振りを組み合わせるなど、それぞれのこどもの意思表示の仕方を職員が理解し、相互の伝達方法に配慮しています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	1	●お祭りや発表会のような行事は設けておりませんが、事業所として、大学の実習生を受け入れたり、事業所主催研修会に地域の関係機関の職員を招待するなど、地域に向けた事業運営を図っております。	わからない=1名
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	●事故、災害、感染症などのマニュアルについて職員会議にて対応方法などの確認を行い、保護者会にて説明しています。安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。	△=1名
47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	●BCPに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、保護者や自治体との連絡訓練を行っています。	◆安全性が担保された上で子どもと一緒に外部へ避難する訓練が課題です。 ◆BCPの職員への周知を図ります。 △=1名
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	●利用開始の際、健康状況票を保護者の方に記入していただき確認しています。また必要に応じて聴き取りも行っています。	◆緊急時に適切に対応できるように、定期的に利用者の既往歴や服薬についての情報共有を行うようにしていきます。
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0		
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	●安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	◆安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っています。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	●危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	●外部研修に職員が参加したり職員ミーティングにて内部研修を行います。意思表示支援等による権利擁護にも意識し、日頃から支援の振り返りを行うよう心がけています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	12	0	●身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。	

非常時等の対応